

献 辞

筒井義郎先生は、2014年4月より甲南大学経済学部特任教授として着任され、教育・研究両面にわたり多大な貢献をされてきましたが、2020年3月をもって退職されることになりました。

筒井先生は、1974年3月に東京教育大学理学部物理学科、1979年3月に大阪市立大学経済学部Ⅱ部を、それぞれ卒業の後、1979年4月に大阪大学大学院経済学研究科博士前期課程に入学され、1981年3月に同課程を修了（経済学修士号取得）、1981年4月に大阪大学大学院経済学研究科博士後期課程に入学され（1982年3月同課程退学）、1989年に大阪大学より経済学博士号を取得されました。

筒井先生は、1974年4月より1975年3月まで神奈川県立高等学校教諭、1975年4月より1980年3月まで大阪府立高等学校教諭を務められた後、1983年4月より名古屋市立大学経済学部助手に着任され、1984年4月より同大学講師、1987年7月より同大学助教授となりました。1991年4月より大阪大学経済学部助教授に着任され、1993年4月より同大学教授、1998年4月より同大学院経済学研究科教授となりました。2014年3月に同職を退職後、同年4月に大阪大学名誉教授となりました。

また、筒井先生は、行動経済学会会長（2007年12月～2009年12月）、日本金融学会会長（2008年5月～2010年5月）など、学会の重職を幾つも務められました。

さらに、筒井先生は数多くの研究著作を発表され、その論文の多くが著名な国際学術雑誌に掲載されました。また筒井先生の著書は、第31回『日経・経済図書文化賞』（1988年）、第7回『全国銀行学術研究振興財団賞』（2001年）、『郵政公社総裁賞』（2007年）を受賞しました。

このように、筒井先生は、名実ともに日本の経済学界の重鎮として活躍されました。

筒井先生は甲南大学経済学部着任後も精力的に研究活動が続けられるとともに、甲南大学で重視される、研究力が滲み出る教育の範を示されました。行動経済学をはじめとする現代の最先端分野に関する筒井先生の高い学識に裏付けられた講義は多くの学生を引き受け、筒井先生のゼミには毎年度多数の応募者がありました。また、筒井先生はインナーゼミナール大会をはじめとする教育イベントに積極的に参加されました。学生のみならずわれわれ教職員にとっても敬愛措く能わざる、温厚かつ誠実なお人柄により、筒井先生は、甲南大学が掲げる人物教育の実践においても模範となる足跡を残されました。

ここに本記念号を捧げ、筒井先生のご貢献に深い謝意を表しますとともに、先生のご多幸を祈念いたします。

2020年3月

甲南大学経済学部長／甲南大学経済学会評議員長 岡田元浩